

第 59 号

大阪府史跡 龍溪禪師墓所 靈龜山 九島院

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号

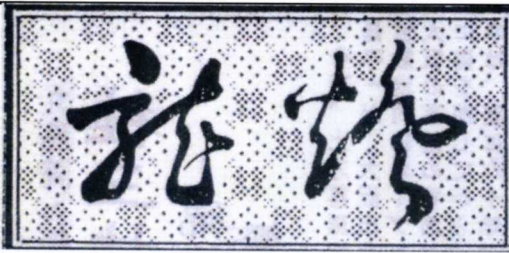
Tel. 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行所

発行者

第廿五代住職

奥田 啓知 (智證)



平成二十一年春 阪神なんば線開通

素手・手足でトイレ掃除 橋下府知事への提言

大阪府知事の橋下徹知事は『教育非常事態宣言』を発して、橋下流の教育改革を押し進めています。とりわけ、全国学力テストの結果が、小6・中3いずれもが全国四十五番目になったことをうけ、学力テストの市町村別結果の公表など、学力向上への取り組みを徹底する方針を表明しています。

教育には、知育(頭)・体育(身体)・徳育(心)がありますが、この3つのバランスがとれてこそ教育成果が上がるのです。とくに、昨今の社会環境の急激な変化の中で徳育の必要性が叫ばれています。

昨年十一月、横浜市の小・中学校で二十年ぶりにトイレ掃除が復活しました。全国政令指定都市では、札幌・東京・川崎・横浜(三校のみ)はトイレ掃除を実施していません。広島市立双葉中学校では、トイレ掃除をすることで荒れていた校内がおさまったという報告もあります。

『大阪便教会』という会があります。『教師の、教師による』

教師のためのトイレ掃除に学ぶ会』ということで、教師が口先だけでなく、教師自ら素手・素足でトイレ掃除を率先して実行することで主体的に変容し、自らの人格を高めることを目的としています。

禅宗では、トイレを『雪隠(せつちん)』『東司(とうす)』と呼び、トイレを七堂伽藍に加えています。東福寺の東司は国宝に指定されています。

中国、宋の時代に雪寶(せつほう)禅師が杭州の雪隠寺で修行していましたが、いつも便所掃除に励んでいました。人の嫌がる便所掃除を、人の見ていない時こっそりしていましたが、いつしか人の知れるところとなり、『雪寶がいなければ便所を探せ、便所は雪寶の隠れ場所だ』といわれたところから、便所のことを『雪隠(せつちん)』というようになったそうです。

雪寶和尚のように、人の嫌がる仕事を、人知れずこっそり行うことを、『陰徳を積む』といいます。陰徳の陰はかげ、徳は功德のことで、『陰

徳あれば陽報あり』で、便所は陰徳を積む最良の場所なのです。

第五十九代黄檗管長の林文照猊下は、若き日出征で悩んでいたとき、当時の禅堂知客の和尚から、山門前の公衆便所の掃除を命ぜられ、棒切れに雑巾を荒縄でしばり便器を掃除しているのを見つけられたそうです。怒鳴りつけた知客和尚は、すぐさま素手で便器にこびりついた大便をかきおとし、その姿を見て『大死一番』と口先で言ったところで便所ひとつ素手で掃除できない自分の弱さを自覚されたそうです。

知事が声高に教育改革を叫んだところで、現場の教師自身が変わらないことには達成できません。いっそうのこと、大阪府をあげて、教師生徒がトイレ掃除に取り組んでは如何でしょう。



